

Q モールス符号の暗記法

昔、「モールス符号」を暗記させる方法として、「いろは順」に「い」は「イトー(・― 伊藤)」、「ろ」は「ロジョーホコー(・―― 路上歩行)」、「は」は「ハーモニカ(―… ハーモニカ)」など覚えやすい言い回しがあったと聞くが、その全文を、また他にもあったのか。

(島根県 T)

A 無線の実用化とともに暗記法として考案され流布したが、現実の受信には不向きと思われる

モールス符号を語呂合わせで覚えるやり方は、合調法(ごうちょうほう)と呼ばれる。

CW (continuous wave, 無線モールス通信)が実用化されて以来、受け継がれてきている暗記法の一つである。最近のモールス教本¹⁾にも、表1の合調法が示されている。

CWは20世紀初頭に実用化されたが、モールス通信が有線だった時代には、現在のような合調法は存在しなかった。有線モールス通信における受信機は、現在とはまったく異なる受信音を発するものだったからである。

現代のCW受信機は、例えば、符号“ト”「・―」を「ププププ」という感じの音で伝える。これに対し、有線通信時代のモールス受信機(Morse sounder)は、同じ“ト”「・―」を「タカタカタカタカカッ」という音で伝えていた。送信者も受信者も、電鍵の上げ下げの感覚をモールス符号と対応させて記憶しており、現在の合調法が入り込む余地はなかったのである。

表1の源流を遡ると、1927年に目黒無線電信講習所の北城孫人が考案し、当時の横須賀海軍水雷学校が採用したという合調法にたどりつく。

北城は、モールス符号の暗記に苦しむ学生たちのために、合調法を考案したとのことである。ただし、北城はかなり頻繁に合調語を

変更しており、合調音を必ずしも一意に定めていなかった。ここでは、北城が雑誌「無線と実験」1930年2月号²⁾に掲載した合調法と、自著³⁾に載せた合調法とを、例として示しておくことにする(表2)。

日本において合調法が最も流行したのは、太平洋戦争末期である。少年団(当時の文部省がボーイスカウトを再編した組織)で行われていたモールス符号の演習が国民学校での軍事教練の一部となったからである⁴⁾。

ただ、モールス符号の演習とは言っても、実際に電鍵を握るわけでもなく、もっぱら合調音を一齐に唱えるだけのものではあった。

この演習法に用いられた合調法は、帝国陸軍における教育用⁵⁾(表3)が一般的であったが、「**獐**」を「**ネーモー**」と読ませるなど、やや無理のある部分が散見される。

なお、回答者の私見になるが、合調法によるモールス符号の暗記は、送信には使用できても、現実の受信には不向きである。通信が高速になるほどその弱点が顕著になる。

例えば、“ト”「・―」の音「ププププ」には、もちろん全く抑揚がないため、とても表にある「特等席」には聞こえない。

「ププププ」から「特等席」を思い出すために要する時間が、結局、受信の妨げになってしまう⁶⁾のである。

表1 最近のモールス教本における合調法

| | 符号 | 合調音 | 合調語 |
|---|--------|--------------|---------|
| ア | ------ | アーケードツーコー | アーケード通行 |
| イ | ..-- | イトー | 伊藤 |
| ウ | ..-- | ウジセー | 宇治製 |
| エ | ------ | エーガジュースーセー | 栄華十数世 |
| オ | ..-- | オモートコロ | 思うところ |
| カ | ..-- | カメースル | 加盟する |
| キ | ..-- | キョートオーサカ | 京都大阪 |
| ク | ..-- | クチクテー | 駆逐艇 |
| ケ | ..-- | ケーキチョーセー | 計器調整 |
| コ | ------ | コートケーショー | 皇統継承 |
| サ | ..-- | サーモヒョージケー | サーモ表示計 |
| シ | ..-- | ショーショーノメーヨ | 少将の名誉 |
| ス | ..-- | スーリョーチョーサヒョー | 数量調査表 |
| セ | ..-- | セヒョーケーチョース | 世評傾聴す |
| ソ | ..-- | ソーチョーコーホ | 曹長候補 |
| タ | ..-- | ターム | ターム |
| チ | ..-- | チコオーシ | 知己多し |
| ツ | ..-- | ツゴーツーチ | 都合通知 |
| テ | ..-- | テスナーテーセー | 手数な訂正 |
| ト | ..-- | トクトーセキ | 特等席 |
| ナ | ..-- | ナギョーナ | 奈行奈 |
| ニ | ..-- | ニューヒチョーカ | 入費超過 |
| ヌ | ..-- | ヌラクラ | ぬらくら |
| ネ | ..-- | ネーセーナドー | 寧静な堂 |
| ノ | ..-- | ノギトーゴ | 乃木東郷 |
| ハ | ..-- | ハーモニカ | ハーモニカ |
| ヒ | ..-- | ヒョーショーシタレー | 表彰した例 |
| フ | ..-- | フーケームヒ | 風景無比 |
| ヘ | ..-- | ヘ | 屁 |
| ホ | ..-- | ホーセキ | 宝石 |
| マ | ..-- | マーマカソー | まあ任そう |
| ミ | ..-- | ミノケーシコー | 美濃罫紙買う |
| ム | ..-- | ム | ム |
| メ | ..-- | メーカラノジョー | 姪からの状 |
| モ | ..-- | モーフトモーフ | 毛布と毛布 |
| ヤ | ..-- | ヤキュージョー | 野球場 |
| ユ | ..-- | ユーゲキューシュー | 遊撃優秀 |
| ヨ | ..-- | ヨーヨー | 要用 |
| ラ | ..-- | ラジオ | ラジオ |
| リ | ..-- | リュウコース | 流行す |
| ル | ..-- | ルームジョートーダ | ルーム上等だ |
| レ | ..-- | レーホースー | 礼砲数 |
| ロ | ..-- | ロジョーホコー | 路上歩行 |
| ワ | ..-- | ワークデー | ワークデー |
| ヰ | ..-- | ヰコーアルヘー | 偉功ある兵 |
| エ | ..-- | エホートーホク | 恵方東北 |
| ヲ | ..-- | ヲショーオージョー | 和尚往生 |
| ン | ..-- | ンドーノキョーシ | 運動の教師 |

(文献¹⁾より改変)

表2 北城孫人の合調法

| イ ロ ハ ニ ホ ヘ ト チ リ ヌ ル ヲ ワ カ ヨ タ レ ソ ツ ネ ナ ラ ム ウ キ ノ オ ク ヤ マ ケ フ コ エ テ ア サ キ ユ メ ミ シ エ ヒ モ セ ス ン | 符号 | 1930年2月 ²⁾ | | 1941年9月 ³⁾ | |
|--|----|-----------------------|--------------|-----------------------|-----------|
| | | 合調音 | 合調語 | 合調音 | 合調語 |
| イ | ・ー | イトー | 伊藤 | イトー | 伊藤 |
| ロ | ・ー | ロトーマヨ | 路頭迷う | ロポーノト | 路傍の塔 |
| ハ | ー | ハーピスト | Harpist | ハーモニカ | Harmonica |
| ニ | ー | ニューヒョー | 入費用意 | ニューヒチョーカ | 入費超過 |
| ホ | ー | ホーコク | 報告 | ホーセキ | 宝石 |
| ヘ | ー | ヘ | 屁 | ヘ | 屁 |
| ト | ー | トクトーセキ | 特等席 | トクトーセキ | 特等席 |
| チ | ー | チソノフ | 地租納付 | チキオーシ | 知己多し |
| リ | ー | リュウコージ | 流行児 | リュウコーズ | 流行す |
| ヌ | ー | ヌラクラ | ぬらくら | ヌラクラ | ぬらくら |
| ル | ー | ルームツワード | Room to ward | ルームジョートーダ | Room上等だ |
| ヲ | ー | ヲショウラージョー | 和尚往生 | ヲショウラージョー | 和尚往生 |
| ワ | ー | ワームデー | Warm day | ワークデー | Work day |
| カ | ー | カトーセキ | 下等席 | カメースル | 加盟する |
| ヨ | ー | ヨーヨー | 要用 | ヨーヨー | 要用 |
| タ | ー | ターム | Term | ターム | Term |
| レ | ー | レージョー | 令嬢風 | レーホース | 礼砲数 |
| ソ | ー | ソートケーカ | 相等経過 | ソーチョーコーホ | 曹長候補 |
| ツ | ー | ツコーツカ | 使う通貨 | ツゴーツチ | 都合通知 |
| ネ | ー | ネーセームフ | 寧静無風 | ネーセーナド | 寧静な堂 |
| ナ | ー | ナロージ | 習う字 | ナギョーナ | 奈行奈 |
| ラ | ー | ラララ | ららら | ラクド | 楽土 |
| ム | ー | ム | 無雨 | ム | mou |
| ウ | ー | ウタゴ | 疑う | ウジセ | 宇治製 |
| キ | ー | キホーコクホ | 違法国法 | キコーアルヘ | 偉功ある兵 |
| ノ | ー | ノベノーリョ | 野辺納涼 | ノギトーゴ | 乃木東郷 |
| オ | ー | オモココロ | 思う心 | オモートコロ | 思うところ |
| ク | ー | ククテ | 駆逐艇 | クロベキョ | 黒部峡 |
| ヤ | ー | ヤキュージョ | 野球場 | ヤキュージョ | 野球場 |
| マ | ー | マーマカソ | まあ任そう | マーマカソ | まあ任そう |
| ケ | ー | ケーヒボチョ | 経費膨脹 | ケーキチョーセ | 計器調整 |
| フ | ー | フートーハル | 封筒張る | フーケームヒ | 風景無比 |
| コ | ー | コートコーギョ | 高等工業 | コークーショレー | 航空奨励 |
| エ | ー | エージェナーホ | 嬰兒衛生法 | エーガジュースーセ | 栄華十数世 |
| テ | ー | テスナーテセ | 手数な訂正 | テスナーテセ | 手数な訂正 |
| ア | ー | アーケドツコー | Arcade通行 | アーケドツコー | Arcade通行 |
| サ | ー | サーイコーイコ | さあ行こう行こう | サーモヒョージケ | Thermo表示計 |
| キ | ー | キョートオーサカ | 京都大阪 | キョートオーサカ | 京都大阪 |
| ユ | ー | ユーコクユソ | 憂国勇壯 | ユーゲキユシュー | 遊撃優秀 |
| メ | ー | メーゲツカキョ | 明月佳境 | メーカラノジョ | 姪からの状 |
| ミ | ー | ミツゾフノ | 密造不能 | ミノケーシコ | 美濃野紙買う |
| シ | ー | ショウショノメヨ | 少将の名誉 | ショウショノメヨ | 少将の名誉 |
| エ | ー | エコーメーフク | 回向冥福 | エホートーホク | 恵方東北 |
| ヒ | ー | ヒョーローケツポ | 兵糧欠乏 | ヒョーショウシタレ | 表彰した例 |
| モ | ー | モーレツコーウ | 猛烈降雨 | モーフトモーフ | 毛布と毛布 |
| セ | ー | セジョーヒョーリョ | 世上漂流記 | セヒョーケーチョース | 世評傾聴す |
| ス | ー | スージュジョーカコ | 数十丈下降 | スーリョーチョーサヒョ | 数量調査表 |
| ン | ー | ンセーンコース | 運勢運行す | ンドーノキョーシ | 運動の教師 |

(文献²⁾より改変)

文献

- 1) 谷口敦郎, 他: はじめてのモールス通信, CQ 出版, 東京, 2011.
- 2) 北城孫人: 電気通信術講座, 無線と実験 (2~6・

8・10・12月号), 1930.

- 3) 北城孫人: 電気通信術, ラジオ科学社, 東京, 1941.
- 4) 大内昌雄: 少年団と国防技術訓練, 南光書院, 東京, 1943.

表3 帝国陸軍における合調法

| イ ロ ハ ニ ホ ヘ ト チ リ ヌ ル ヲ ワ カ ヨ タ レ ソ ツ ネ ナ ラ ム ウ キ ノ オ ク ヤ マ ケ フ コ エ テ ア サ キ ユ メ ミ シ エ ヒ モ セ ス ン | 符号 | 合調音 | 合調語 |
|--|----|-----------|-----------|
| イ | ・ー | イトー | 伊藤 |
| ロ | ・ー | ロジョーホコー | 路上歩行 |
| ハ | ー | ハーモニカ | ハーモニカ |
| ニ | ー | ニューヒゾーカ | 入費増加 |
| ホ | ー | ホーコク | 報国 |
| ヘ | ー | ヘ | 屁 |
| ト | ー | トクトーセキ | 特等席 |
| チ | ー | チカトーキ | 地価騰貴 |
| リ | ー | リュウコーチ | 流行地 |
| ヌ | ー | ヌリモノ | 塗物 |
| ル | ー | ルールシューセース | ルール修正す |
| ヲ | ー | ヲショウショウコー | 和尚焼香 |
| ワ | ー | ワートユ | ワート言う |
| カ | ー | カトーセキ | 下等席 |
| ヨ | ー | ヨコー | 洋行 |
| タ | ー | タール | タール |
| レ | ー | レーゾー | 礼装用 |
| ソ | ー | ソートコーカ | 相当高価 |
| ツ | ー | ツゴードーカ | 都合どうか |
| ネ | ー | ネーモダロー | 獐猛だろ |
| ナ | ー | ナロータ | 習うた |
| ラ | ー | ラムネ | ラムネ |
| ム | ー | ム | ム |
| ウ | ー | ウタゴ | 疑う |
| キ | ー | キコーハツヨ | 威光発揚 |
| ノ | ー | ノギトーゴ | 乃木東郷 |
| オ | ー | オモココロ | 思う心 |
| ク | ー | クルシソ | 苦しそう |
| ヤ | ー | ヤキュージョ | 野球場 |
| マ | ー | マーマカソ | まあ任そう |
| ケ | ー | ケーカリョコー | 経過良好 |
| フ | ー | フートーハル | 封筒張る |
| コ | ー | コートコーギョ | 高等工業 |
| エ | ー | エーゴエービーシ | 英語ABC |
| テ | ー | テスナーホーホ | 手数な方法 |
| ア | ー | アーユートコーユ | ああ言うところ言う |
| サ | ー | サーイコーイコ | さあ行こう行こう |
| キ | ー | キーテホーコク | 聞いて報告 |
| ユ | ー | ユーコクユソ | 憂国勇壯 |
| メ | ー | メーゲツダロー | 明月だろ |
| ミ | ー | ミセヨミョ | 見せよう見よう |
| シ | ー | シュートナーチュイ | 周到な注意 |
| エ | ー | エコーメーフク | 回向冥福 |
| ヒ | ー | ヒョーローケツポ | 兵糧欠乏 |
| モ | ー | モーシトコーシ | 孟子と孔子 |
| セ | ー | セヒョーリョコーダ | 世評良好だ |
| ス | ー | スージュジョーカコ | 数十丈下降 |
| ン | ー | ンメンメーナ | 甘え甘えな |

(文献⁴⁾⁵⁾より改変)

- 5) 無線通信用合調音語表, 陸軍省教育総監部, 東京, 1934.
- 6) 黒木総一郎: 通信修技の新教育法に就いて, 日本音響学会誌 (5月号), 東京, 1943.

回答

京都大学人文科学研究所附属
東アジア人文情報学研究センター准教授
安岡孝一